

産業技術総合研究所 平成 30 年度 研究評価委員会（地質調査総合センター）
議事要旨

1. 日時：平成 31 年 3 月 5 日（火）10:00—17:35

2. 場所：産業技術総合研究所 つくば中央 第 7 事業所（7-3C 棟 第 2 会議室）

3. 議事

- (1) 開会挨拶
- (2) 委員等紹介・資料確認
- (3) 領域による説明（質疑含む）（議事進行：香村 一夫 評価委員長代理）
- (4) 総合討論・評価委員討議・講評（議事進行：香村 一夫 評価委員長代理）
- (5) 閉会挨拶

4. 議事概要

(1) 領域による説明と質疑応答

資料 4、5 に基づき、領域の概要と研究開発マネジメント、知的基盤の整備、「橋渡し」のための研究開発（1）「橋渡し」につながる基礎研究（目的基礎研究）、（2）「橋渡し」研究前期における研究開発、（3）「橋渡し」研究後期における研究開発についての説明と質疑が行われた。

領域の概要と研究開発マネジメントに関する質疑応答は、研究評価、研究人材の拡充・育成等についてであった。

知的基盤の整備に関する質疑応答は、地質図の整備計画と状況、地質情報の二次利用促進等についてであった。

「橋渡し」につながる基礎研究（目的基礎研究）に関する質疑応答は、研究マネジメント、領域内外との研究連携等についてであった。

「橋渡し」研究前期における研究開発に関する質疑応答は、研究フェーズ、研究成果の実用化等についてであった。

「橋渡し」研究後期における研究開発に関する質疑応答は、民間との共同研究、公的
外部資金による研究等についてであった。

(2) 現場見学会

「地質情報のウェブ発信（GCOP 地質情報総合共有システム、3D 地球化学図、地域振興への活用）」「超精密ひずみ計」「粘土系吸着剤の蓄熱システム」「AI を導入した微化石自動鑑定・分取システム」「X 線 CT による地質試料の非破壊計測」「火山噴火緊急調査への対応」「2018 年の GSJ ピカイチ研究」の説明が行われた。

(3) 総合討論

説明全般について総合討論が行われた。

(4) 講評

評価委員長代理はじめ評価委員より講評が行われた。

5. 評価委員(敬称略、委員五十音順)

香村 一夫 早稲田大学 理工学術院 創造理工学研究科 教授 (評価委員長代理)

ウォリス サイモン 東京大学 大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻 教授

末廣 潔 海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター 上席研究員

鈴木 徳行 北海道大学 大学院 理学研究院 地球惑星科学部門 特任教授

6. 配布資料

資料 1 : 議事次第

資料 2 : 出席予定者

資料 3 : 座席表

資料 4 : 評価資料

資料 5 : 説明資料

資料 6 : 主な指標の情報

別添 1 : 第 4 期中長期計画 (抜粋)

別添 2 : 平成 30 年度計画 (抜粋)

別添 3 : 評価項目及び評価方法